

Culture **カルチャー** 論じる



制作発表記者会見に臨む右から三部芸術監督、指揮者の川瀬、理事長の上田、副理事長の堰八義博

道二期会「還暦」の集大成

北海道二期会(上田文雄理事長)は、11月23、24の西日、ヨハン・シュトラウス2世作曲の喜歌劇「こうもり」を札幌市教育文化会館で上演する。創立60周年の記念シリーズと題した演奏会の集大成。1月下旬に制作発表が行われ、同会の三部安紀子芸術監督は「還暦を迎えた道二期会として、新時代に新しい息吹を吹かせたい」と語った。

同会は多くの人にオペラに親んでもらおうと1964年に設立。記念シリーズ第1弾として昨年11月、女性のオペラのアリア特集「女はみんななごうしたもの」を上演。第2弾は今年3月3日、札幌のザ・ルーテルホールでゴールデンコンサートを開く予定だ。

今回はドイツ語歌唱(日本語字幕付き)、せりふは日本語。演出は中

11月札幌 喜歌劇「こうもり」上演

村敬一。宮本益光と西島厚のダブルキャストでアイゼンシュタインを演じる。管弦楽団として川瀬賢太郎指揮の札幌交響楽団が出演。道内でタレントとして活躍する小橋亜樹もオペラに初挑戦する。

川瀬は「『こうもり』は誰が見ても面白い。楽譜通りでは素っ気ないし、逸脱しすぎては素っ気ない。兼ね合いが難しいが、楽しみたい」、中村は「作品の持っている匂いを大事にし、観客に訴えるようなものになりたい」と述べた。三部は「多くの出演者に演じてもらい、にぎやかでおしゃれな舞台にしたい」と話した。

チケットの一般販売は7月23日から。問い合わせは同会事務局、電話090・62266・5313へ。

(高橋毅)

2024年

2月16日

金曜日

発行所
北海道新聞社

〒060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011-221-2111
www.hokkaido-np.co.jp

北海道新聞